

## 接触事故防止の徹底を

佐藤渡辺の石井社長  
造成現場パトロール

佐藤渡辺の石井直孝社長は14日、茨城県阿見町で施工している土地区画整理事業造成工事の現場を安全パトロールした。本社や関東



現場を巡視する石井社長（右から2番目、佐藤渡辺提供）

支店、茨城営業所の幹部らも同行し、工事の進捗（しんちよく）状況や安全衛生管理活動を確認した。

視察した現場は組合施行の「阿見町荒川本郷第二土地区画整理事業造成工事」。施工を佐藤渡辺・オービー建設が担当している。

パトロール終了後、石井社長は「安全に作業が行われていることが確認できた。広い現場だが作業誘導員を配置し、ダンプや重機との接触事故防止に努めてほしい」と呼び掛けた。同行した橋本秀浩執行役員関東支店長は「6鈔に及ぶ大型造成工事となる。安全管理や現場内の整理整頓が徹底されていた。引き続き、安全第一で工事を完成してほしい」と要請した。

